

令和7年度は2品種の キウイフルーツを販売

御殿場キウイフルーツ出荷組合は、10月下旬から御殿場地区産の「レインボーレッド」と「東京ゴールド」の販売を開始しました。レインボーレッドは果肉の中心部が赤く、東京ゴールドは果肉が黄金色で、それぞれ糖度が高いのが特長です。同地区では、レインボーレッドに「かいよう病」が広がり、収穫量が激減。同地区営農経済センターでは、同出荷組合員にレインボーレッドに変わる品種として東京ゴールドへの改植を進め、本年度初出荷となりました。

同センターの担当者は「レインボーレッドは消費者の気持ちは高いが病気に弱い。数年前に東京ゴールドに改植したことでキウイフルーツの産地を守ることができた。今後も防除を行いレインボーレッドの生産を守っていくと同時に、東京ゴールドは生産量を増やし、さらに産地化を進めていきたい」と話します。

レインボーレッドの販売は終了しましたが、東京ゴールドはファーマーズ御殿場をはじめ当JA管内のファーマーズマーケットや直売所で12月下旬ごろまで販売しています。

レインボーレッドと東京ゴールドのパック詰めは、農福連携事業として特定非営利活動法人のぞみ作業所に委託しました。



東京ゴールドの販売開始にあたり、リニューアルしたパッケージ

10月25日 JA英語教室で ハロウィンパーティーを開催



大いに盛り上がった大道芸人DAISUKEさんのパフォーマンス



英単語を使ったピンゴに挑戦する参加者

JAふじ伊豆御殿場英語教室は、御殿場地区のJA生活センターで、小学校3年生から6年生までの生徒約350人を対象に、ハロウィンパーティーを行いました。同パーティーは、英語圏の文化に触れることを目的に毎年開催しています。

参加者は仮装をして会場に集まり、英語を使ったピンゴやジャンケン、くじ引きなどのゲームのほか、大道芸を楽しみ、お土産に袋いっぱいのお菓子を持ち帰りました。

開校から50年が経過した同英語教室には現在、御殿場地区の小学3年生から中学3年生、一部高校生の約640人が通っています。

令和8年2月には、「小学生新入講体験講座」を行います。詳しくは裏面をご覧ください。

御殿場地区 トピックス

写真で振り返る

10月・11月

伊豆の国地区の米を受け入れ 施設を有効活用

御殿場地区営農課は、仁杉のライスセンターで伊豆の国地区の「あいちのかおり」と「こまる」の2品種のうるち米を受け入れました。

御殿場地区と伊豆の国地区は米の収穫時期がずれるため、ライスセンターでの受け入れが可能です。

本年度は2品種合わせて190件、約334トンの米を受け入れました。



ライスセンターに運び込まれた伊豆の国地区の米

11月14日 組合員ゴルフ大会を開催 親睦深める

御殿場地区本部は、小山町の東富士カントリークラブを会場に「第53回組合員親睦ゴルフ大会」を開催し、組合員146人が参加しました。

優勝は、東田中の芹澤政博さんでした。



さわやかな秋晴れの下、プレーを楽しむ参加者



御殿場地区の年金友の会メインイベントでは、丘みどりさんへ「このはなの恵み」を贈呈



暴力防犯対策協議会 警察署別連絡会であいさつをする御殿場警察署の竹下貢署長



女性部生活学校でカロリーリングを楽しむ参加者

小学生が米の集荷・検査を見学

御殿場地区の米検査場で、小学生の見学を受け入れました。児童らは、米の検査方法や等級の付け方について検査員のJA担当者から説明を受けたほか、倉庫に積み上がった米袋を見学し、収穫後の米の流れについて学びました。



10/8 玉穂小学校
(玉穂検査場)



10/28 高根小学校
(高根検査場)



9/22 明倫小学校
(北郷検査場)

11月19日 全国わさび品評会の 受賞を報告

東京都の豊洲市場で10月21日、第40回全国わさび品評会が行われ、御殿場山葵組合の勝又敬一郎さんが最高位の特賞・農林水産大臣賞を、同組合の勝又京治さんが優秀賞の東京促成青果株式会社を受賞しました。11月19日には当JA本店を訪れ、梶組組合長に受賞を報告しました。

同組合では農林水産大臣賞を3年連続で受賞しており、京治さんが38、39回大会で、敬一郎さんが今回初受賞となりました。梶組組合長は報告を受け、二人の受賞をたたえました。

敬一郎さんは冊子版広報誌12月号の表紙と「農に生きる」のコーナーに登場しています。ぜひ、ご覧ください。



左から京治さん、敬一郎さん、梶組組合長

御殿場地区でのワサビの栽培について梶組組合長(右)に説明する敬一郎さん(中央)